

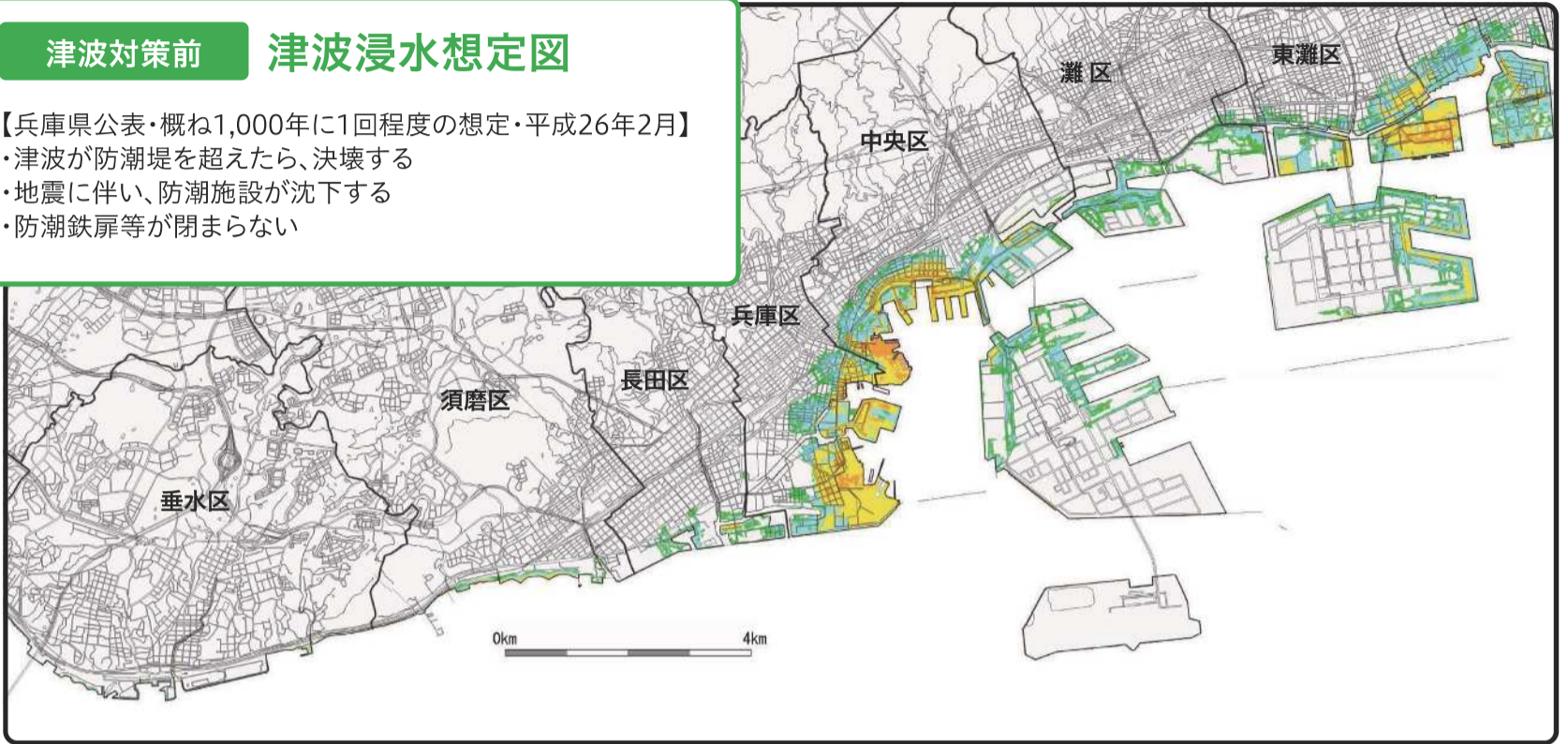
神戸港では「津波への備え」を強化しています

南海トラフ巨大地震の津波対策

津波対策前 津波浸水想定図

【兵庫県公表・概ね1,000年に1回程度の想定・平成26年2月】

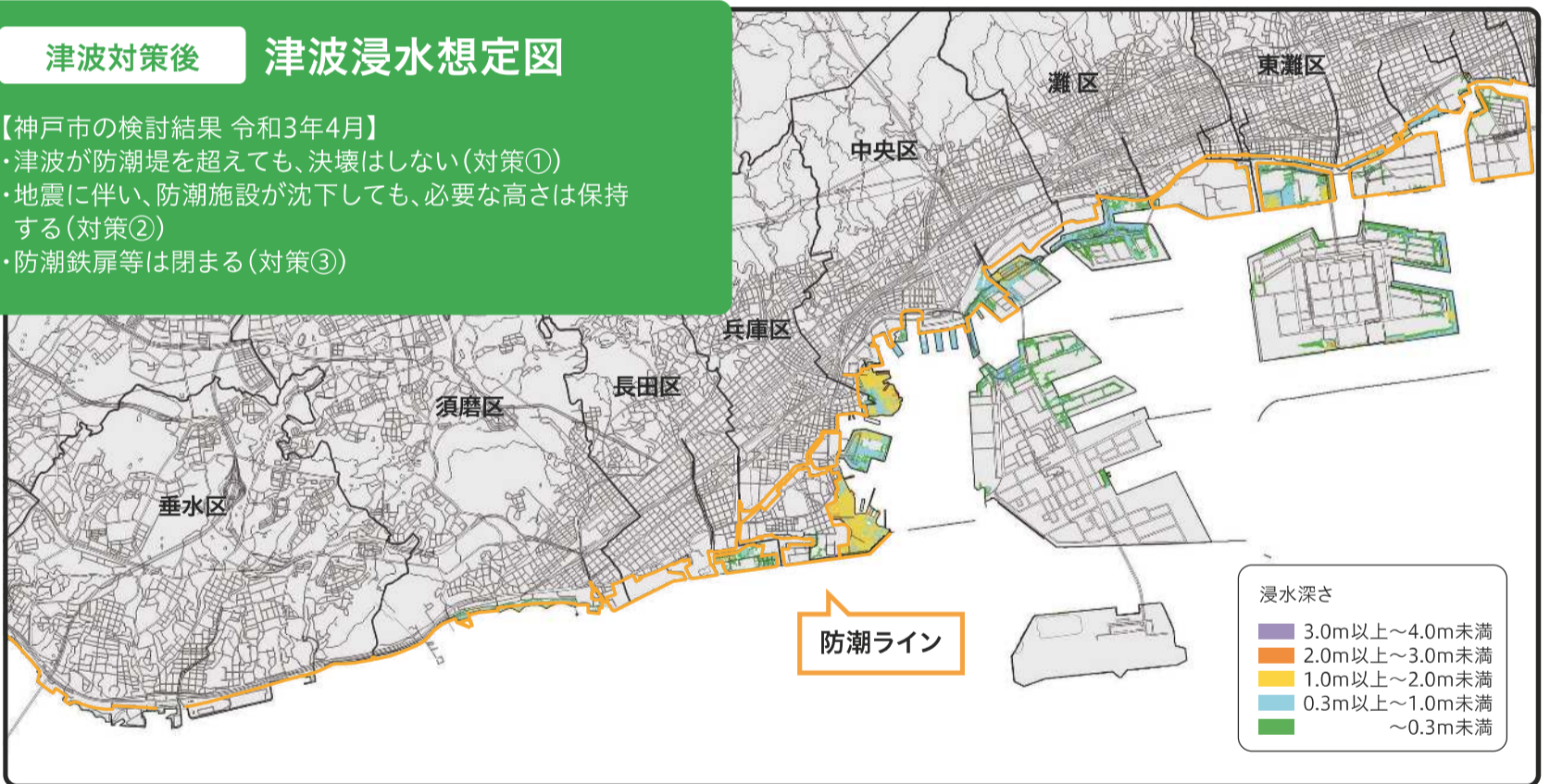
- ・津波が防潮堤を超えたら、決壊する
- ・地震に伴い、防潮施設が沈下する
- ・防潮鉄扉等が閉まらない



津波対策後 津波浸水想定図

【神戸市の検討結果 令和3年4月】

- ・津波が防潮堤を超えても、決壊はしない(対策①)
- ・地震に伴い、防潮施設が沈下しても、必要な高さは保持する(対策②)
- ・防潮鉄扉等は閉まる(対策③)



防潮堤の整備

■ 100年に1回程度で発生が想定される津波への対策(防潮堤)は完了しています。

■ 概ね1000年に1回程度で発生が想定される津波への対策として、防潮堤を「ねばり強い構造(対策①)」への補強、地震に伴う沈下を見越した、「かさ上げ(対策②)」などに取り組んでおり、令和4年度中に完了します。



防潮鉄扉などの遠隔操作

■ 予測が困難な南海トラフ巨大地震に備え、タブレットを操作して、水門・鉄扉を「遠隔操作(対策③)」によって確実にかつ迅速に閉鎖できる環境整備に取り組んでおり、令和6年度中の完了を予定しています。

